



暮らしに寄り添いながら地域の医療を支える人たち ～あなたらしさを大切にしています～

療養が必要になっても“自分らしく”暮らして いきたい。住み慣れた自宅で過ごしていきたい。

そんなとき、医療は“自分らしい”暮らしを支えていきます。医療だけではなく、多くの専門職が連携しご本人や家族の想いに寄り添いながら支援しています。

あなたらしさを支える医療

医療はあくまで手段です。あなたの“あなたらしい”生活を支える手段です。“あなたらしさ”のあり方によって、治療方法は選択できます。

“あなたらしさ”とは、どこで生まれてどうやって育ってきたか。誰と一緒に何をしているのか。何を大切に、どこでどうやって生きていきたいか。それを支える医療を実践することこそが、地域医療の神髄だと思っています。

そして、通院が難しくなった時には訪問診療を検討してください。医療は“あなたらしさ”を支えるためにあることを忘れないでください。



伊豆保健医療センター 内科・総合診療科
清水啓介 医師



田方歯科医師会 理事/わかば歯科クリニック
院長 浅井秀明 歯科医師

食べることは生きること

「口は命の入り口心の出口」といいます。生きるため、そして美味しいものを食べて喜びを感じるためにはお口から食事ができることがとても大切です。笑ったりお話をするためにもお口周りの機能を維持・増進していくことが大切です。また、お口の中を清潔に保つことは全身の病気の予防にもつながります。

私たち歯科医師・歯科衛生士はお口を通して皆様の生活がより豊かになるよう、そして健康でいられるようサポートさせていただきたいと思っております。

ひとつのチームになって支えます

本人と家族の気持ちに寄り添って支援をしていくことを心がけています。

「家で過ごす」という選択をされた場合、その方の暮らしに合った介護保険サービスを調整し、家で過ごしたいという想いを支援しています。

さまざまな職種とひとつのチームを組んで連携をはかり、安心した暮らしへ繋げていきます。



主任介護支援専門員(ケアマネジャー)の皆さん

「ここで生きていく」を支えます

コロナ禍になり、入院先から「自宅に帰りたい」という人が増えています。「どこでどんな風に過ごしていきたいか」ご本人やご家族の気持ちの変化に細やかに対応し、“ここで過ごしていきたい”気持ちを支えています。

血圧や体温などの基本的な健康状態から日常の様子などを、医師やかかりつけ医療機関、ケアマネ・ヘルパー等の多職種と共有しながら、日々の変化に対応しています。



訪問看護ステーション
連絡協議会の訪問看護師

「あなたの人生の主役」は皆さん、一人一人です。
主役である皆さんの“想い”を大切に、医療や介護・福祉の専門家だけではなく、地域の企業の皆さんや多分野・多領域の業種の方々にも協力をいただき、手をつなぎながら、地域の中にあるさまざまなサービスなどを最大限に活かした取り組みを進めています。
皆さんができる限り最期まで、生きがいを持って、暮らしたい場所で、自分らしく暮らし続けられる地域づくりを通して、地域で支えあう力の向上も目指しています。
人生の舵を切るのは、あなた自身です。その船を安全に心地よく進みやすくする地域・社会全体を、地域の皆さんと共につくりあげていきたいと、私たちは考えています。